

結婚以来ずっと県外で暮らし、事務の仕事をしていました。2人の子供が独立したのを機に、実家の母親の面倒を見なければと思い帰省し、この職場で働くようになりました。

今から約20年前、私が30歳の頃に父を亡くした時、葬儀のことが何も分からず、全て親族の方たちに任せっきりにしてしまい、そのことがずっと気持ちの中で尾を引いていました。これから先の母のことを考え、そういう思いをしたくないと少しでも知識が得られたらというのがこの職場で働く動機でした。

会館スタッフの一員として働いてまだ1年にもなっていませんが、今もって難しいのはご葬儀の流れ。宗派によってそれぞれ違い、先輩スタッフから教わりながら少しずつ覚えていくところです。

ご葬儀で会葬者を案内する時でも緊張し、小さな失敗はよくあります。そうした失敗を減らすようにすることが今の私の課題です。考えながら動くので、どうしても一歩遅れてしまうこともあります。ご葬家様の気持ちに寄り添えるようになると、身体や言葉が自然と出るのだと思います。

ある時のご葬儀で、思わず涙がこぼれそうになったことがありました。そうした経験を何度か積んでいるうちに、故人様を見送ってあげる気持ちが大切なんだということも分かってきました。

目の前のことを覚えることが多い中、ご葬家様の裏方として働けたらという思いと、それをスタッフみんなで協力しながら見送ってあげられることに働きがいを感じています。そして、ご葬家様などから聞かれたことは、自信を持って心から教えられるようになることが私の今の目標です。

自然に身体が動き言葉が出るように
故人様を見送ってあげる気持ちが大切

須賀川 圭子



「青森を元気に!」

「青森を元気に!」が私たちの合言葉です。

「死」はとても悲しいことです。

しかし、その「死」に向き合うことで

「明日からお父さんのためにもっと頑張るからね!」

「お母さん本当に産んでくれてありがとう!」

と新たな一歩を踏み出せるキッカケになることもあります。

「死」と向き合うためのサポートが出来るよう、

お客様に寄り添う葬儀社でありたい、

それが私たちリンクモアの思いです。

そして、大切な時を過ごされた後に「明日から頑張ろう!」

と思っていただけのサポートを

させて頂きたいと考えております。

「青森を元気に!」それが私たちの思いです。

故人様を見送ってあげる
気持ちが大切

Keiko Sukaagawa

COMPANY ~会社情報~

株式会社 リンクモア



会社概要

社名：株式会社リンクモア

住所：青森市中央1-27-10

代表者：代表取締役社長 船橋 素幸

リンクモア(旧:青森冠婚葬祭互助会)は、昭和42年(1967年)に青森市に設立以来「心の絆をだいに」を理念に掲げ、運営を行ってきました。

私たちは冠婚葬祭業という人生の節目となる儀礼の中で、この世の中は一人で生きているのではなく、様々な方と繋がり、そして、助け合っている。冠婚葬祭は人間関係に築き(気づき)、確認する接着剤」ということを伝えていければと考えております。

これからも「心の絆をだいに」という経営理念のもと、(地元のための、地元による、地元の互助会)として、青森市に、貢献いたします。

これまでも、これからも・・・
地域の皆様と心の絆をだいに。
リンクモア!



ゲストハウスのような空間で大切な時をゆっくりと

家族葬邸宅カシタではゲストハウス(迎賓館)のような空間で大切な時をお過ごしいただきたいという思いで建設いたしました。ご家族が集まり、ゆっくりと思い出を思い起こしながら過ごす。カシタでは、そんな空間と時間を提供してまいります。



一人ひとりの人生という物語。決して同じストーリーはありません。だからこそ、平安閣では、一人一人に合わせた「世界に一つだけのお別れの刻(とき)」を手作りでお手伝いさせていただきます。どのようなご要望でも構いません。私たちに一度、思いをお聞かせください。あなたらしいお別れの刻をご提案させていただきます。